

第2回行政改革大綱策定懇談会意見要旨

本市は、今後5年間で人口減少局面を迎えるとともに、団塊世代が後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」を目前に控え、少子・超高齢化の一層の進行が見込まれるなど、社会構造が大きく変化する時期を迎える。

そのような中、今後の行政改革には、現下の厳しい社会経済環境や行政課題の増大を踏まえ、「短期・集中的」な視点で行政経営の効率性の向上を目指すことに加え、「超長期的」な視点も踏まえながら、本市の行政サービスの再構築を進めることが求められているところであり、その「指針」として現在策定に取り組む①「新たな行政改革大綱」は、本市の50年、100年先の持続的な発展を支えていくための「布石」である。

近年、多くの自治体に取り組んできた「行政改革」は、厳しい財政状況を背景に、定数削減、財政収支の均衡を主眼に置いた「縮小均衡」、「役所の内部改革」であったように感じる。

本市においては、4次にわたる行政改革において、「市民重視の行政経営」を基本に、「市民と共に進めるまちづくり」と「経営資源の選択と集中」に取り組んできたところであるが、社会構造の一大転換や「都市間競争」の激化を目前に控え、②今一度、「行政改革」を「本市のさらなる発展を支えるもの」と定義し、民間を含めた人材、資金、施設、すなわち「うつのみやが持つ社会資源全体」を視野に入れ、それらを「輝かせる」ための改革に取り組むことが求められる。

すなわち、将来の人口規模・構造や都市活動に対応した都市の姿として、本市が取り組む「ネットワーク型コンパクトシティの形成」を基本理念として、行政サービスの再構築や、公共施設などの財産の有効活用、職員のさらなる活力向上に取り組むことに加え、市民、事業者、地域団体、NPO法人などの「多様な主体」やそれらの「活動」、豊富な知識・経験を持つ高齢者や高等教育機関などの「人材」、様々な資源や特色・機能を持つ「地域」、民間の「ストックや資金、ノウハウ」などの③「うつのみやが持つ社会資源全体」が、世代や地域、分野を超えて相互に交流し連携し合う「多角的・多面的なネットワーク」の「核」としての役割を本市が担い、それらの有効活用に取り組むべきである。

さらに、人口減少に伴い、社会資源全体が縮小局面を迎えることも危惧されるため、本市の地理的優位性、全国に誇る施策・事業や、それらに裏打ちされた高い居住性、利便性を効果的にアピールし、人口流入や企業集積により一層取り組むなど、「増やす」、「攻める」ことも意識した取組を進めていきたい。

また、将来にわたって持続的な発展を支えていくためには、④一時的には、市民と「痛み」を共有しなければならない場面が生じることもあるが、その前提として、世代、性別、居住地域など様々な属性・背景をもつ市民が、十分な情報のもとで、納得・共感することが求められることから、行政サービスのコストなど、積極的な情報提供にもより一層取り組まれない。

これらの取組を着実に進めることで、現時点で顕在化していないものも含め、⑤自治体経営を取り巻く様々な変化やリスクに的確に対応できる「強さ」と「しなやかさ」を併せ持つ行政経営を確立することを期待する。

【基本的な考え方】 ※第2回懇談会(8月)事務局案

「住民の福祉の増進」に向けた「市民重視の行政経営」を基本として、将来の人口規模・構造や都市活動に対応した都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を見据え、これまでの4次にわたる行政改革で継続的に取り組んできた「市民と共に進めるまちづくり」と「経営資源の選択と集中」をより一層推進しながら、時代に対応した行政サービスへの再構築と、それらを支える財政基盤、執行体制の構築を推進

【基本目標】

意見を踏まえた検討

【基本的な考え方】

- 「住民の福祉の増進」に向けた「市民重視の行政経営」を基本として、将来の人口規模・構造や都市活動に対応した都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を見据えながら、これまでの4次にわたる行政改革で継続的に取り組んできた「市民と共に進めるまちづくり」と「経営資源の選択と集中」をより一層推進
- 特に、本市の人材、資金、施設などのさらなる有効活用に取り組むことに加え、民間も含めた「うつのみやの持つ社会資源全体」を視野に入れ、それらが相互に交流し連携し合うネットワークの「核」としての役割を本市が担い、うつのみやの持続的な発展に向け、市民と行政が共に理解・納得した上で、改革の「努力」も「成果」も分かち合いながら、取組を推進
- これらの取組により、時代に対応した行政サービスへの再構築と、それらを支える財政基盤、執行体制の構築を推進

【基本目標】

将来を見据えた最適な行政サービスの確立

～人や地域、活動をつなぐ「ネットワーク」で築く、よりよいサービス～